

- Reference data (of the part you cite)
- Kawano, Yasutaka (2018) プレゼンテーション・ディスカッション活動における高校生が抱える困難点の特定について. In Reinelt, R.(eds.) Communication 2018. JCAcs, Matsuyama, p. 8-14.

平成30年11月24日(土)  
第21回日本コミュニケーション学会  
@福山大学

# プレゼンテーション・ディスカッション活動における高校生が抱える困難点の特定について

川野泰崇(広島大学附属三原中学校)  
yasutakawano@hiroshima-u.ac.jp

# 本研究の目的

1. プレゼンテーションとディスカッションを統合した授業展開モデルを考案する。
2. プレゼンテーション, ディスカッションそれぞれの活動段階における高校生が抱える困難点を特定する。
3. 特定された困難点をもとにプレゼンテーション, ディスカッション指導の在り方について提案する。

# 研究目的1: 授業展開モデルの考案: プレゼン・ディスカッションー一体化できない部分

## プレゼンテーション

提案内容が意思決定者の心に響き、行動を促すことができるか

- ・スライド作成術
- ・表現方法(インパクトのある言葉選びやレトリック)
- ・演出(間の取り方、表情・・・)
- ・機器操作

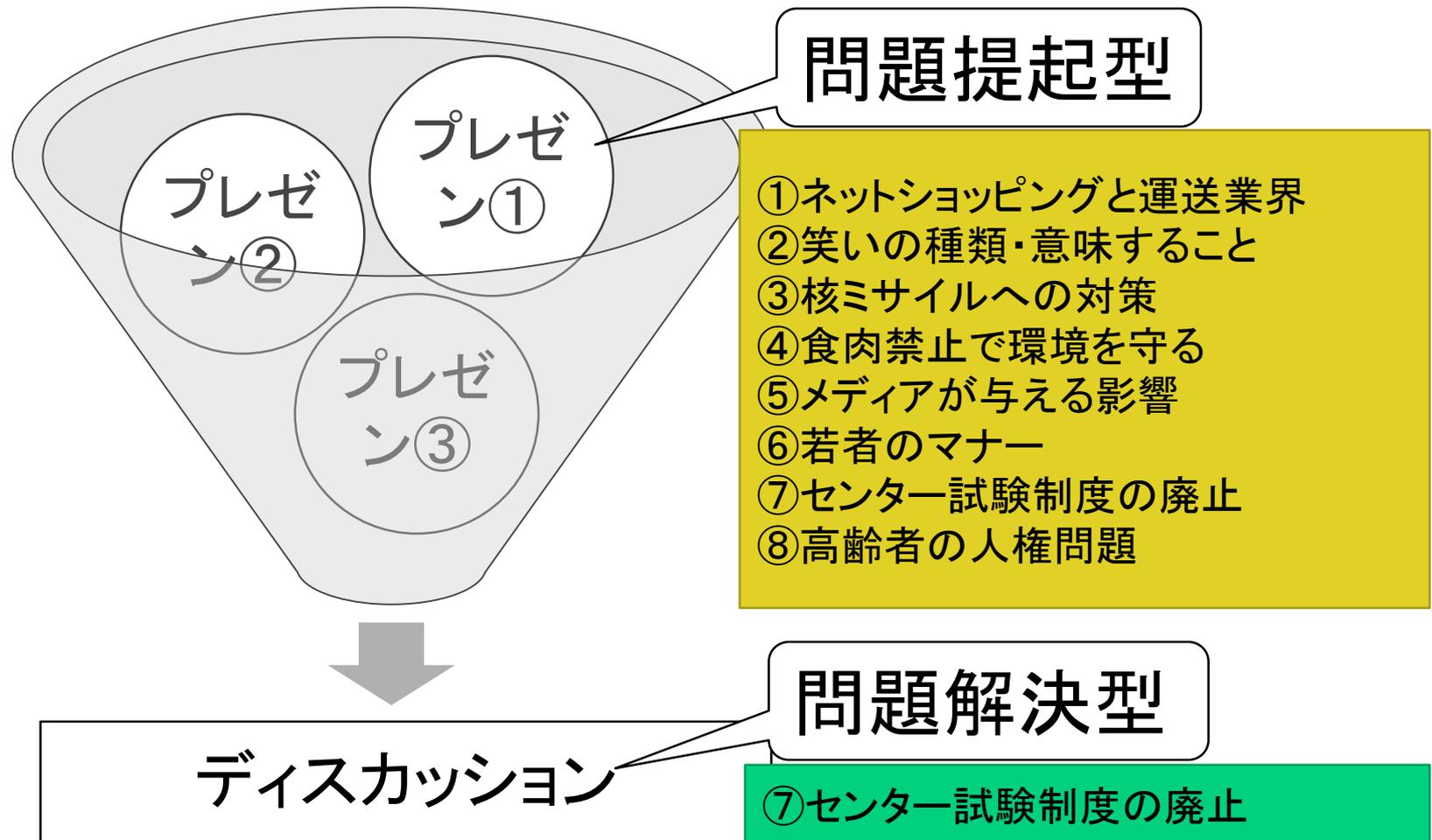
一体型授業

## ディスカッション

参加者が合理的な結論を導くことができるか

- ・論理的思考力
- ・批判的思考力
- ・短・長期的視野
- ・複眼的視点

# 研究目的1: 授業展開モデルの考案 本研究で行った一体型授業の概要



# 本研究の課題と展望

- ①対象学年・英語学力と結果の一般化
- ②困難点の変容（認知面）
- ③評価ルーブリックの開発と評価実践
- ④パフォーマンスの変容

## 参考文献

- Hughes, J. & Mallett, A. (2012). *Successful Presentations for Professionals who Use English at Work*. Oxford: Oxford University Press.
- 広島大学附属福山中・高等学校英語科(2017). *Introduction to Logical Argument*. 広島大学附属福山中・高等学校
- 松本茂・鈴木健・青沼智 (2009). 『英語ディベート理論と実践』東京: 玉川大学出版部.
- 文部科学省(2016). 『幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領の改善及び必要な方策等について(答申)』中央教育審議会  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1380731.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1380731.htm)(2018年8月6日引用)
- 文部科学省 (2017). 『平成29年度英語力調査結果(高校3年生)の概要』初等中等教育局  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kokusai/gaikokugo/1403470.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1403470.htm)(2018年8月6日引用)